

(別紙6)

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月27日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0770402501		
法人名	有限会社 滋正福祉会		
事業所名	グループホーム ムーミンの森		
所在地	福島県いわき市常磐関船町上関70-1 (電話) 0246-43-3821		
評価機関名	社会福祉法人 福島県社会福祉協議会		
所在地	福島市渡利七社宮111番地		
訪問調査日	平成19年6月27日	評価確定日	平成19年7月31日

## 【情報提供票より】(19年5月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成16年6月18日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 2人, 非常勤 7人, 常勤換算	8人

## (2) 建物概要

建物構造	木造在来工法	造り
	1階建ての	1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,400 円	

## (4) 利用者の概要(5月1日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名	
要介護1		要介護2		1	名	
要介護3	4名	要介護4		1	名	
要介護5	3名	要支援2				
年齢	平均	86歳	最低	74歳	最高	93歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	内科: さかもと内科胃腸科クリニック	歯科: 織田歯科医院
---------	--------------------	------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

この事業所は新興住宅地にあり、大通りから少し入り車の通りが少なく、居間からは公園、電車が見えて動きのある景観が楽しめる。近所には医療機関(開業医・薬局)が点在し、協力医療機関も見える所にあり、行事に医師が出席するなど相互の信頼関係も構築されており緊急時にはすぐに指示を仰げる体制が取られている。  
管理的にならず、ごく当たり前の生活を提供することが何よりも第一という運営者の強い思いが職員に伝わっており、利用者一人ひとりの生活パターン、個性が尊重されている様子が感じ取れた。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 外部4)
	地域向けのホーム便りやパンフレットを作成し、各関係機関へ配布することが改善課題だったが、利用者のプライバシーを配慮した慎重な判断により着手していない。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 外部4)
	職員は評価の意義を理解し、積極的に自己評価に取り組み、よりよい事業所にしていこう、よりよいサービスにつなげようという意識が感じられた。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 外部4, 5)
	7月から行政の方が運営推進会議に加わるとのことであるが、まだ運営推進会議が形式的なものになっているので、利用者や外部の理解のある方、協力的な方に参加していただくなどして良い結果に繋げて欲しい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 外部7, 8)
	毎月家族との面会日を設けているほか、家族等が話しやすい雰囲気づくりに心がけており、家族等の意見等が職員間で共有されていると思われた。今後もアンケートなどの形式的なもの他に、きちんと意見等を話せる機会を持つことは大切であり、対話を基本とした信頼関係づくりに取り組んでほしい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 外部3)
重点項目	新興住宅地にあるため古くからの住民との交流は難しいが、しがらみなどに拘らず新しい関係を築きやすいとも考えられる。隣の公園に来る親子連れや散歩する方々との何気ない交流から地域との良い関係が築かれると期待できる。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一人ひとりが主人公で、家庭であるように、管理的にならずごく自然かつ当たり前の生活を求めていく」という独自の理念を掲げ、住み慣れた地域での安心した生活の継続とその人らしさを尊重している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用の際には、必ず理念を伝え、職員の理解を得ている。毎日ミーティングで職員がつくりあげた「ムーミンの森のお約束」を唱和するほか、定期的に理念を再確認している。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	新興住宅地の中で、公園の隣という立地条件もあり誰(住民)もが気軽に声を掛け合える場となっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価の結果を職員会議などで改善に向けて話し合いを持っている。書類の様式変更などサービス向上に繋がる改善に取り組んでいる。また、外部評価の意義・目的を運営者と職員が共通認識している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>7月から行政関係者が会議に参加することになっているが、これまでの会議は形式的なものにとどまっている。</p>	○	<p>利用者や近所の方で協力的な方がいらっしやるとのことなので、運営推進会議への参加を依頼してみしてほしい。</p>
6	9				
<b>4.理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>必要に応じて、その都度家族に報告、説明をしている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>アンケートで家族等の意見、不満、苦情を引き出す努力をしている。さらに家族が面会時に話しやすい、言いやすい雰囲気づくりにも留意している。意見等については、ミーティングや職員会議で速やかに取り上げ、サービスに反映している。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>開設からこれまで、職員の異動が少ない。異動の際でも、利用者に配慮しダメージはほとんどない。利用者、職員とも地元の方がほとんどで、馴染みの職員によるケアができています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5.人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の内容を見極め、出席を検討している。	○	現在、重度の方が少ないようであるが、今後重度化の可能性があり、介護全般において専門的知識が求められることが考えられるため、職員の研修会等への参加、他のグループホーム見学や内部の学習会開催などを期待したい。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	管理者、業務主任は同業者との交流の機会があり、サービスの質の向上に努めている。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1.相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している(小規模多機能居宅介護)			
<b>2.新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昼食に1時間20分を確保し、利用者と職員(介助しながら)と一緒に食事を摂り、食材やテレビ番組の話題についてを語り合い、ゆとりあるひとときを一緒に過ごしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	意思疎通の困難な方については、これまでの経過等を踏まえ職員が思いを推測したり、家族に聞きながらできる限り本人の意思に添えるよう希望や意向の把握に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人との毎日のかかわりの中で、思いや意向を介護計画に取り入れるように努めている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画にそったケース記録を1ヶ月毎にまとめており、本人及び家族等の意向を取り入れながら3ヶ月毎に介護計画の見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(小規模多機能居宅介護事業所のみ記入)</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている(小規模多機能居宅介護)	/	/	/

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所から近所に協力医療機関があり、2週間毎に定期診察と随時診察を受けている。必要に応じて病院の紹介を受け、入院時は職員が毎日交代で面会に行っている。本人及び家族等の希望する医療機関も利用できる。また、かかりつけ医が行事に参加するなど良好な関係が築かれている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期について、介護計画に本人及び家族の意向を盛り込むとともに、重度化の場合も想定し、事業所でできる最大限の努力をするという共通認識がある。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	事業所の広報誌発行を以前から考えているが、利用者のプライバシーを考え発行に踏み出せないなど、プライバシーに関しては慎重である。また、プライバシーを損ねない対応が図られている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な日課はあるが、一人ひとりの意思を尊重し、無理なく対応されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食をメインとして、ゆっくりとした時間を確保しており、職員も同じ時間を共有している。一人ひとりができること、得意なことを尊重し役割を分担し準備片付けに取り組み、良い関係が築かれている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	利用者同士そして職員が語り合いながら入浴が楽しめる雰囲気づくりに努めている。現時点で入浴時間の希望はなく、平日の午後に入浴を行っており、一人ひとりの希望を確認し支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援(認知症対応型共同生活介護事業所のみ記入)					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている(認知症対応型共同生活介護)	ごく自然にテラスで洗濯物を干したり、食事の手伝いを行うなど、家庭での生活が垣間見えた。また自分のしたいことを選択できる自由もあり良い環境である。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している(認知症対応型共同生活介護)	希望により職員と食材の買い出しに出かけるほか、現金を所持されている方もおり、ドライブや散歩、近所のコンビニエンスストアへの買い物の際は体調に考慮しながら支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	どこからでも自由に出入りできる住環境になっており、開放感を感じさせられる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署が近くにあり、緊急時の連絡体制がとられている。また、消防計画が立てられている。	○	新興住宅地の中にありアパートも多く、平日は日中不在の方も多いようであるが、できる限り近隣の方の協力が得られるよう働きかけてみてほしい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量をチェック表に記入し、一人ひとりの体調や嗜好の状況把握に努めている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	汚れや臭いがなく、心地よい生活空間であり、居間からの景観も良い。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室の壁紙、カーテン、手すりなどの柄や構造が違い、一人ひとりが使い慣れた家具や思い出の品物を持ち込み、心地よさが感じられ、本人の思いに配慮されている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（別紙1）を添付すること。

### 3 評価結果に対する事業所の意見

事業所名 グループホーム ムーミンの森  
記入担当者名 藤原 滋

評価結果に対する事業所の意見
特になし

#### 評価結果に対する「事業所の意見」の記入について

意見については、項目 を記入してから内容を記入してください。